

梅雨や台風等の大雨に備え、洪水対応演習を行いました

草木ダム管理所では、梅雨や台風等による大雨に備えるため、毎年全職員で洪水対応演習を行っています。今年は、5月10日（木）・11日（金）の2日間にわたって実施しました。この演習では、国交省、群馬県、みどり市、桐生市、桐生警察署、桐生市消防本部等の関係機関にもご協力いただき、ダムからの放流に関する通知の伝達訓練も併せて行いました。

演習上の「洪水」として、草木ダム洪水調節計画の流入量最大1,880m³/秒・最大放流量640m³/秒を上回り、非常用放流設備からの放流を行う規模となる異常洪水の雨量と流出量を想定し、参集訓練、下流河川巡視及び警報巡視訓練、放流前設備点検訓練、電話やFAXによる放流通知やダム管理状況等の伝達訓練、異常洪水時防災操作訓練等を実施しました。このうち、異常洪水時防災訓練では、実際にホットラインを使い、みどり市と桐生市に浸水被害発生の可能性に関する情報の伝達も行いました。

また、下流河川巡視及び警報巡視訓練では、流域の皆様のご理解をいただき、スピーカーによる放送試験を行いながら、巡視ポイントや巡視経路を確認しました。

草木ダム管理所では、日頃の施設点検や維持管理と、こうした訓練を積むことにより、いつでも的確に洪水に対応できる態勢を整えており、洪水時にはダム下流の地域を氾濫被害から守っていきます。

